

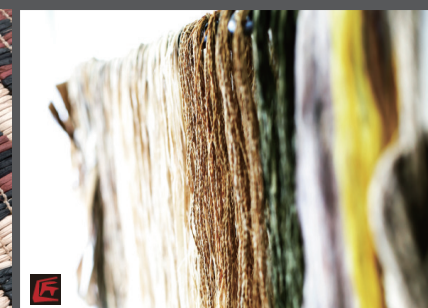
アイヌ衣装と文様

Costume and Pattern

アイヌの人ひと独自の衣文化を築きました。その代表とも言えるのがアットウンです。日常に着たものには、あまり飾りを施しませんでしたが、晴れ着には背や袖口に紺や黒の布をアップリケしたり、さらに独特の文様を刺繍しました。女性達は、上手な人をお手本に刺繍の技術を磨き、伝えてきました。西洋刺繍と同じような技法が使われていますが、文様はひとつずつ作るのではなく、複数の文様にまたがって一筆書きのように刺繍していきます。本州方面との交易により木綿の布や糸が手に入りやすくなると、樹皮に替わり木綿の衣服が多く作られるようになりました。文様をほどこすことで魔除けになるとも考えられていたため、多くの生活道具や衣服に文様が入られました。美しくほどこされた文様は自分を表現する手段であり、心を伝える言葉でもありました。



貝澤 竹子 オニカブンチタラベ 364,000円



間宮 喜代子
ショルダーバッグ 18,000円
バッグ 6,900円



間宮 喜代子 タベストリー 各 28,000円



間宮 喜代子 テーブルセンター 180,000円

